

しゃきょう

社協 かみかわ

No.83

2019年8月発行

～地域福祉の情報紙～

主な記事

- 2 ページ 会長就任退任あいさつ
- 3 ページ 平成30年度決算報告
- 4・5 ページ 平成30年度社協の取り組み
- 6 ページ 町老連生活支援体制づくり研修会
- 7 ページ 食事からフレイル予防 TSU・NA・GU^①
- 8・9 ページ 社協からのご案内
- 10 ページ 感謝のお知らせ かみかわペンリレー^④



8・9

月号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

表紙より

中学生から善意の気持ちが届きました！
神河中学校の生徒が
『善意の募金』活動に取り組んでくださいました。
あたたかいご協力に感謝します。

会長就任のご挨拶

社会福祉法人 神河町社会福祉協議会

会長 秋山 紀史
あきやま のりふみ



いよいよ夏本番、暑さも日増しに厳しくなつてまいりましたが、皆様方にはご健勝にてお過ごしくださること、そして豪雨風水被害が起らないことを願っています。

平素は、社協事業・地域福祉活動の推進に格別のご理解・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

この度、神河町社会福祉協議会の理事会において、会長に推挙され我が身も顧みず6月27日付けをもちまして受諾、就任することとなりました。もとより浅学非才でその器ではございませんが、皆様方のご期待に沿えるよう、今後より一層の熱意をもつて職務に精励する所存でございますので、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

昨今の福祉をとりまく環境は、少子高齢化が急速に進む中、まさに複雑多

様化の様相を呈しています。そのような状況の中、当社協におきましては社協理念である「誰もが安心して暮らせるささえあいの地域づくり」を合言葉に第2次地域福祉推進計画を策定し、この計画に基づき地域福祉事業を推進してまいりました。現在、社会福祉充実残額を活用した障がいのある方の活動交流拠点の設置につきまして協議を重ね調整を進めており、また、地域共生社会の実現に向けて、各集落の特性を活かした地域のつながり、見守り支え合い活動の支援を続けております。

引き続き、社協事業を着実に遂行対応してまいり、住民の皆様方のご意見・ご要望に迅速に応えることが今の私に課せられた責務であり、その任務の重大さを痛感しているところでございます。

今後、役職員が丸となって町民の皆様の一歩に充分応えられるよう、尚一層の研鑽、努力するとともに、行政及び関係機関との連携を図って皆様方に親しまれ寄り添う社協を目指し、地域福祉の向上に尽瘁してまいりたいと思います。

終わりにになりましたが皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

令和元年7月吉日

退任のご挨拶

社会福祉法人 神河町社会福祉協議会

前会長 中野 正義
なかの まさよし

盛夏の候、町民の皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私ごと、去る6月27日の任期満了をもちまして、神河町社会福祉協議会々長を退任させていただきました。省みますと、平成18年6月に理事として就任させていただいて後、約13年間、町民の皆様方の社会福祉協議会に対する深いご理解とご協力を強く感じると共に、社協に対する期待も強く感じましたが、そうしたご期待にお答えできなかったことが多かったことを申し訳なく思っております。にもかかわらず、多くの町民の皆様方のご指導やご協力のお陰で、事業の推進ができたこと、この度、無事退任できたことを心よりお礼申し上げます。

今後も社会福祉協議会は、社協理念の実現に向け、職員丸となって取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

役員・評議員の紹介

役員11名

役職	氏名
会長	秋山 紀史
副会長	中島 富久代
理事	足立 喜久雄
〃	日並 香
〃	辻井 光明
〃	浦上 美紀
〃	前田 順子
〃	澤田 博行
〃	草壁 勝
監事	田中 常生
〃	佐古 正雄

*任期 R3年6月の定時評議員会まで

評議員25名

選出区分	氏名	選出区分	氏名
議会議員	澤田 俊一	商工会	片岡 仁
行政関係	桐月 俊彦	消防団	木下 隆生
教育関係	岡本 敏樹	防犯協会	田中 茂光
民生・児童委員	神崎 みどり	社会福祉施設	田中 良史
区長会	玉田 亨	子ども関係	中安 延哉
日赤奉仕団	羽戸 尊比古	越知谷	横田 榮
老人クラブ	長井 正美	栗賀北	堀口 利之
身障福祉会	戸田 賢二	栗賀南	高橋 幸一
手をつなぐ育成会	日和 陽子	大山	長井 勝
遺族会	川手 政昭	寺前	中島 勇
共励会	方山 紀代子	小田原	三谷 伸子
介護経験者	藤原 恵美子	長谷	立垣 直子
ボランティア	三木 昌子		

*任期 R3年6月の定時評議員会まで

決算

◆収入合計	183,202,966円
◆支出合計	115,145,721円
◆差 引	68,057,245円 …次年度へ繰り越し

収入の部

科 目	説 明	決算額(円)
会費収入	町内の各世帯、事業所から納入される会費収入	3,920,000
寄付金収入	善意銀行への寄付金と善意の募金収入	3,848,319
経常経費補助金収入	人件費を主とする町や県社協からの補助金収入	32,878,686
受託金収入	委託を受けた事業に対する収入	9,724,868
事業収入	給食サービス利用料や介護用品販売収入	2,024,036
介護保険収入	高齢者への介護サービス提供にかかる収入	55,091,564
障害福祉サービス等事業収入	障がい者への介護サービス提供にかかる収入	8,760,930
受取利息配当金収入	預貯金の利息	13,754
その他の収入	県社協研修指導講師料、部会委員報酬	866,782
施設整備等寄付金収入	施設整備のための寄付金	0
前年度繰越金	前年度からの繰越金	66,074,027
収 入 合 計		183,202,966

支出の部

科 目	説 明	決算額(円)
人件費支出	全ての職員に支給する人件費	85,244,449
事業費支出	事業に直接要する費用	13,751,133
事務費支出	法人や事業の運営事務に要する人件費以外の費用	4,497,004
助成金支出	ボランティアグループ、福祉推進校等への助成金	3,698,199
負担金支出	県社協職員協議会等への負担金	36,000
固定資産取得支出	ヘルパー活動車2台、洗濯乾燥倉庫、乾燥機	2,420,440
その他の活動支出	退職手当積立基金への預け金	5,498,496
支 出 合 計		115,145,721

『釣り』が好きな方へ!

～目標はアジ200匹～

釣りが大好きな方へ、『釣りボランティア』を募集します。

釣り場まで送迎いたしますので、釣果を町内の一人暮らしの高齢者等にお届けするお弁当の材料としてご提供ください。場所は海がきれいな日本海を予定しています。なお、釣り具やエサは各自ご用意いただき、釣った魚を下処理して下さる方を募集します。



日 時 9月24日(火)6時神崎支庁舎出発
～16時解散予定
*予備日:10月3日(木)

場 所 新温泉町浜坂漁港(予定)

募集人数 8名(10名乗りのワゴン車でいきます)

申込み 9月17日(火)までに社協へ申し込んでください。
☎32-2303

平成30年度
社協の
取り組み
～事業報告～

※主な事業のみ記載しています。

総括

●保有財産の活用

本会の保有財産7・5千万を、障がい者の活動拠点、交流拠点の建設に活用するため、検討委員会を立ち上げて議論を重ねました。施設の内容としては、NPO法人ゆめ花館(就労継続支援事業B型)の継承と、常に介護が必要な障がいのある方の食事や入浴介助などの生活介護を、施設において計20人定員でこなす計画です。

●地域共生社会の実現に向けて

地域住民が主体となり、新たな地域の

法人運営、広報

- *理事会 6回
- *評議員会 3回
- *評議員専任解任委員会 2回
- *監査会 2回
- *役職員研修1回(大規模災害時の社協の対応について)
- *社協かみかわ 年6回発行

自主財源の確保

貴重な自主財源である会費や募金の取りまとめを区役員の方々のご理解とご協力により実施しています。

*善意の募金

1,068,679円

*一般会費

3,380,000円

(3,380世帯)

*特別会費

540,000円

(92事業所)

*善意銀行への預託

2,779,640円

(86件)

当事者を支援する活動

*福祉給食サービス

見守りが必要な高齢者への弁当配食 4,919食

*まちの子育てひろば活動支援

6団体 168,146円

*おゆすりプラザ

使わなくなった子育て用品を、必要とする方にお譲りします 年2回

年2回

*歳末たすけあい募金を活用した6つの事業

1,704,226円

1,704,226円

*わろてんカフェ

大切な方を亡くされたご家族のグリーフケア 年1回



*福祉ふちショップ等の生活困窮者支援

使用しない祝い返し等を安価で販売し、生活困窮者への緊急支援に活用 随時

住民安心サービスの提供

*福祉サービス利用援助事業

判断能力が充分でない方の金銭管理や生活支援 8名

*「お悩み生活相談」と「法律相談」

32名

*車いす、介護用ベッド貸出し

34件

*福祉有償運送サービス

車いすを使用されている方の通院送迎 544回(31名)

*お買い物送迎サービス

車を持たない高齢者世帯の買い物送迎 延べ160名

*終活セミナー「書いてみて納得！エンディングノート」

34名

*生活支援コーディネーター委託業務

34名

34名

34名

つながりを創り出すことで地域課題の解決力や生きがいを高めていく地域共生社会の実現に向けて、引き続き町から生活支援コーディネーター業務の委託を受け、健康福祉課（地域包括支援センター）と連携しながら「元気で長生き」「お互いさまの助け合いの仕組みづくり」を進めています。30年度は話し合いの場である協議体[※]が新たに6集落で立ち上がり、町内14か所において地域の実情に応じた協議体活動がおこなわれるようになっていきます。

●介護人材の確保と新たな養成

前年度に引き続き、介護資格の初級レベルに該当する「介護保険初任者研修／131時間」を開催し、15名が終了しました。これにより新たな人材の発掘並びに、介護の仕事に就いている未資格者のスキルアップとなり、本会に限らず、町内の介護事業所における介護人材の確保に結び付いていくことが期待されます。

を地域住民とともに考えます。
*助け合い車両貸し出し事業
車いすのまま乗れる福祉車両の無料貸し出し
80回

福祉学習・福祉啓発

*ボランティア推進活動校助成
550、366円（6校）
*福祉教育出張講師
4回
*ちよつといこと運動
*トライやるウィークの受け入れ
3名
*タイムレター
中学3年生が書いた親への感謝の手紙を預かり、10年後に発送します。
*社協活動PR番組の製作、放映

ボランティア活動の推進

*ボランティア登録状況 99団体
*ボランティア活動支援助成
2,052、433円（67グループ4個人）
*ミニデイ運営の協力、支援
・社協スポーツ杯
6地区
・研修会等開催
*夏休みこども塾



介護サービスの提供

*訪問介護事業
自宅で食事や排泄の介助、掃除や調理などのサービスを提供
*訪問入浴サービス事業
自宅へ浴槽を持ち込み、寝たきりの方の入浴サービスを提供
*居宅介護支援事業
介護サービスの利用計画を作成
*障害者自立支援
障がいのある方へのホームヘルプサービスと介護サービス利用計画作成

災害への対応

*西日本豪雨災害被災地への職員派遣
1名 5日間
*西日本豪雨災害被災地へのボランティア派遣
3回 述べ32名



★神河町社協HPで、事業報告書及び会計決算書を御覧いただけます。



健康寿命を延ばそう！

神河町老人クラブ連合会『生活支援体制づくり研修会』

6月4日、二気気で長生きと「お互いさまの助け合いの仕組みづくり」の啓発を目的に、各集落の老人クラブ会長と女性部長を対象にした研修会を開催しました。

最初に、兵庫県社会福祉協議会地域福祉部の荻田藍子副部长から、「高齢者の社会参加と介護予防」と題したお話をいただいた中に、寝たきり期間が世界（男性は約9年、女性は約12年）であるという報告があり、参加者一同大変驚きました。できるだけ介護が必要な状態の期間を短く、元気で自分らしく暮らしていくためには健康寿命

を延ばすことが必要で、そのためには社会参加（日頃の豊かなつながり）が大切だと締めくくられました。

次に、養父市下八木区の太田豊さんより、養父市で老人クラブ会員を中心に実践されている地域の助け合い活動の報告をしていただきました。

養父市では、老人クラブ有志の方で「ちよつとたのまれ隊」を結成し、買い物送迎を実施されています。また、男性が中心となった「いどばた喫茶」や毎日の「やぶからぼうたいそつ」も集いの場、介護予防の場になっています。最後に太田さんは、「活動スタートから9年の実績、参加者の増加、健康維持と地域の絆の強まりが活動者の喜びや自信につながり、生きがいとなっている。」「地域づくりは大きく踏み出そうとすると負担も大きい、自分達ができることを考え、一歩でも、いや半歩でも進むことが大事。」と話されていました。

後半は荻田さんの進行によるグループワークです。まず「地域に今ある集い場」を出し合い、どの地域にも、ミニテイヤやふれあい喫茶、グラウンドゴルフや体操教室などの健康づくりの場、伝統行事、隣近所のお付き合いなど、たくさん集い場があることを再確認できました。次に、自分や老人クラブで今後で



きそうなことを出し合いました。たくさんさんのグループで「健康づくりの場を作りたい」という意見が出ており、元気で長生きへの関心が高いことがうかがえました。

老人クラブは会員もたくさんおられ、地域の中でもとても大きな団体です。この研修会を通して、地域で活躍することが自分の健康づくりに繋がることをご理解頂き、今後ますます活発な活動が展開されることを期待しています。

杉老人クラブ

『高齢者の支え合い講座』

杉老人クラブではミニデイサービスの日に合わせて「高齢者の支え合い講座」を開催され、事前に実施された支え合いアンケートの結果報告を中心に、見守り合いや支え合いの必要性を、社協職員及び地域包括支援センター職員が説明しました。

住み慣れた自宅で長く暮らし続けていきたいと願っている自分自身のためにもこの講座が地域での見守り合いや支え合い活動に繋がることを願っています。



元気に
長生きしよう!

食事からフレイル予防



エビと豆腐の中華風あん (2人分)

- ① ブロッコリーを下茹でしておく。
- ② 玉ねぎを5mm幅の長方形に切り、フライパンで炒める。
- ③ 軽く焦げ目がついたらAとBを加え、味をみながら煮詰めていく。(この時豆腐は切らなくても混ぜながら潰せば時短になります。)
- ④ 好みの味まで煮詰めたら、水に溶いた片栗粉を加え、トロミをつけ、上からスイートコーンをふって完成。



【材 料】

むきエビ	40g	A
絹ごし豆腐	1/2丁	
玉ねぎ	1/2個	
ブロッコリー	60g	
スイートコーン		
中華だし	小さじ3	B
お湯	400ml	
片栗粉	大さじ1	

フレイル予防で大切なのは、たんぱく質をしっかり摂取し筋肉量を維持することですが、高齢になると肉や魚などの硬いものや、ポロポロとばらけやすい物が食べづらくなり、さらにサラサラとした水分の多い物でもむせやすくなってしまいます。

そのため、今回は火を通して柔らかい豆腐を多めに使用し、野菜も柔らかくなりやすいものを使用しました。中華あんにすることで飲み込みやすい献立になっています。

介護老人保健施設かみかわ 管理栄養士

TSU・NA・GU^①

〈^{いた}劳わるつもりが…〉

ある地域で聞いたこと。ご主人を亡くされた高齢の女性の方2~3人で集ってしゃべっていると、最初は楽しく会話しているのに、最後はいつも「いつ死ねるんやろ。」「どないしたら死ねるんやろ。」そんな会話になるそうです。「なんでそんなこと思うん? まだまだ元気で楽しんでよ。」と言うと、「私らまだ元気なのに、周りの人に世話してもらわばっかりやから。」「何もせんでもええと言われるのが一番つらいわ。」という返事でした。

確かにその方達は高齢ではあるけれど、お元気で家事も農作業も一人でこなしておられます。まだまだ役に立てるし、立ちたいと思っておられるのではないのでしょうか。自分の行動が家族や地域の役に立ち、喜ばれるということは、自分の喜びや生きがいになり、『元気で長生き』に繋がります。厚生労働省の調査では、ボランティア活動などの社会貢献活動をしている高齢者ほど自立した生活を継続しやすいという結果も出ています。

高齢者を劳わっているつもりが、知らないうちにその方の役割や活躍の場を奪うことになっているのかも知れません。地域の中で高齢者が生き生きと活躍する、もちろん手助けが必要な時は周りが支える、それができる地域になるよう、みんなで一緒に考えていきましょう。



社協からのお知らせ

ボランティア活動の充実に活用ください！

～県民ボランティア活動助成金～

この助成金は、県民の地域活動への主体的な参加を促し、県民自らが行うボランティア活動の支援を通じて、活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的としています。

次の条件を満たすボランティアグループに対し、ひょうご県民ボランティアプラザより30,000円を上限(※昨年度は25,000円)に助成が受けられます。

◎申請条件

- ・団体の構成人数が5名以上の団体
- ・年度中に12日以上継続的なボランティア活動を行っている
- ・活動に係る支出が6万円以上の見込み

◎申込締切 8月30日

申込用紙は社協窓口にあります。お気軽にお問い合わせください。

災害時に、どう判断し行動しますか？

～災害ボランティア研修～

いつ起きるか分からない災害に備え、防災ゲーム『クロスロード』を通して、災害時にどう行動すればいいかを学んでみませんか。

また、六栗市で起こった水害時に、避難所運営や炊き出し等はどういったかの報告から、災害時に必要なことを一緒に考えましょう。

日時 令和元年9月18日13時30分～
場所 神崎支庁舎
内容 ①神河町でも起こっている災害を考えよう。
～六栗市の水害の例より～

- ②クロスロード研修
- ③アルファ化米の試食

対象者 災害登録ボランティア登録者・災害ボランティア活動に興味がある方
申込み 9月11日(水)までに社協へお申し込みください。



心身障がい等による生活困窮者等への助成事業

公益財団法人姫路十字会

昭和45年に設立され、心身に障がいをお持ちの方々や関係施設への助成を継続してまいりました財団法人姫路十字会は、平成26年4月1日に公益財団法人姫路十字会へと移行し、神河町の協力を得て、さらなる助成事業の拡充を進めております。

このたび、兵庫県神崎郡において、左記の内容により令和元年度事業を行いますので、対象となりうると思われる方、また該当施設はご応募ください。

尚、各申請については、予算の関係により、姫路十字会の選考基準に基づき審査及び選考をさせていただきます。

①心身障がい等による生活困窮者への援護

援護金 3万円

対象

神河町に在住で、家族の中に重度の心身障がい等【身障手帳1級・2級・3級、療育手帳A判定、精神福祉手帳1級】の方おられる世帯住民税の非課税世帯であること

方法

神崎支庁舎内健康福祉課窓口を設置された申請用紙に記入し、姫路十字会に郵送

添付書類・身障手帳等の写し、非課税世帯証明(家族全員の非課税証明)

②心身障がい者施設等への助成

条件 神崎郡内の施設及び環境整備に助成を必要とする心身障がい者施設等であること

方法

申請書を姫路十字会に郵送
(申請書は姫路十字会ホームページからダウンロード)

③各申請書の受付期間

受付期間 令和元年8月1日～8月31日

支給日 令和元年9月26日

お問い合わせ先 公益財団法人姫路十字会 ☎079(224)0001

社協からのお知らせ

お譲りします！

町内の方から預託のあった「電動カート」を、必要な方にお譲りします。お問い合わせは9月13日(金)までに社会福祉協議会へ

☎078-3662-3303

*取扱説明書はありません。

*複数の方から希望があった場合は、社協で使用される方の状況をお伺いしたうえで譲渡先を判断いたしますので、ご了承ください。



令和元年度地域相互見守りモデル事業(地域となり組)

実施団体の2次募集

- (1) 事業趣旨 子育て支援や高齢者の見守り、サロンなどの居場所づくり等を通じて、住民同士が世代、性別を問わず助け合いのできる地域コミュニティの構築に取り組む地域団体等を募集します。
- (2) 対象団体 地域団体、地域団体による協議体、NPO法人等
- (3) 補助予定地区数 10地区程度
- (4) 補助金額 1地区あたり50万円限度
- (5) 事業実施期間 交付決定日から令和2年3月31日
- (6) 募集期間 7月16日(火)～9月13日(金)※募集期間内必着
※応募書類等は、兵庫県のホームページからダウンロードしてください。
- (7) 問い合わせ先 兵庫県健康福祉部社会福祉局社会福祉課福祉企画班

☎078-3662-3381(担当:大谷)

心配ごと相談のご案内

暮らしの安心相談では行政・人権相談を含めて、8月は相続相談、12月は就職相談を実施し、専門の相談員が相談に応じます。

暮らしの安心相談

〈偶数月の第4水曜日に定期開設〉

●開設時間／13時30分～16時受付

—8月は、相続・行政・人権相談—

相続にかかわる制度の仕組み、遺産相続の事前準備や手続き方法など、相続に関する不安や悩みについて司法書士が相談に応じます。

また、行政サービス、施策に関する苦情、要望や制度の仕組み、申請窓口に関する問い合わせなどの相談を受け、その解決のための助言や関係行政機関に対して通知し問題の改善を行う行政相談委員が行政に関する相談に応じます。

そして、差別や不当な扱いを受けているなど、人権の侵害があった場合には、法務局などを通じて適切な処置を講じ救済を図るための相談窓口として人権擁護委員が、人権にかかる身近な問題について相談に応じます。

相談時間は概ね1人30分です。

法律相談

〈奇数月の第4水曜日〉

●開設時間／13時30分～16時30分

財産や相続、金銭問題などのトラブルを解決するために弁護士が相談に応じます。

相談時間は1人30分です。

■法律相談

開設日	会場	相談員
9月25日	神崎支庁舎	兵庫県弁護士会 派遣弁護士

■暮らしの安心相談

開設日	会場	相談員
8月28日	神崎支庁舎	司法書士
		行政相談委員
		人権擁護委員

※法律相談は予約制です。前日までにご予約ください。

※相談時間の希望がある場合には予約を受け付けます。

※皆様から頂く会費や赤い羽根共同募金を財源に実施しています。福祉に関する相談は、社協窓口でも職員が常時対応しています。

感謝のお知らせ

(5月17日～7月16日) (敬称略・受付順)

【善意銀行】ありがとうございます

氏名	地区	内容	一言コメント
匿名		供養として	
栗賀中学校第八期 同窓生		福祉のために	
大仲真由美	赤田	供養として	
安田雅文	貝野	供養として	お世話になり、ありがとうございました。
飯尾芙美子	中村	供養として	お世話になりました。
神田正人	栗賀町	供養として	
岸口美千代	上小田	供養として	お世話になり、ありがとうございました。
匿名		福祉のために	
足立則秋	新田	供養として	お世話になりました。
大中耕二	本村	供養として	
上田和代	比延	供養として	
合 計			508,200円

善意銀行の預託金は、町内小中学校・高校の福祉教育活動やボランティアの助成金、高齢者などへの給食サービスの材料代、地域づくり助成金などに使われています。

家族みんなで挑戦!! しゃきょうクイズ

応募先 〒679-2414 神河町栗賀町630
神河町社協「クイズ係」
Eメール k-syakyo@kcni.ne.jp

応募締め切り 9月13日(金)

東京オリンピック2020の開幕まで残り1年となりました。今回は、1964年に開催された東京オリンピックからの質問です。
知っている人は記憶を呼び起こして! 知らない人は調べてみてね!

①1964年、初めて日本でオリンピックが開催された記念に制定された祝日は?

〇〇の日(※現在は変更されています)

②この大会で話題になった女子バレーボールのチームのことを何と呼ぶ?

東洋の〇〇

答えのわかった方は、1、問題の答え 2、住所 3、氏名 4、社協かみかわの感想や社協への意見などをお書きの上、ハガキまたはEメールでご応募ください。抽選でクオカードをプレゼントいたします。

前号の答え ①ウ 紫式部 ②ウ 5,000円札

◎当選者 森脇厚子さん(大山)

【物品収集】《古切手・ベルマーク・書き損じハガキ》

・寺岡也寸志 (新 野) ・中野妙子 (淵)
・奥野昭彦 (岩 屋) ・阪本須美子 (南小田)
・きらきら館 ・中井幾代 (猪 篠)
・子育て学習センターおひさま ・高崎正英 (寺 野)
・高内としみ (寺 前) ・神河町手をつなぐ育成会
・石堂明美 (鍛 治) ・仁紙誠一 (吉 富)
・旬秋山ガスショップ (中 村) ・匿名 8件
・山本秀樹 (寺 前)
・中野玉枝 (淵)

【物品預託】ありがとうございます

・福本老人クラブ 雑巾180枚
・猪田満寿栄 3輪電動カート
・匿名 介護用品



かみかわペンリレー 46人目



町内の皆さんを一つの輪で
つなげます。

〈全号の青木胡麦さん(寺前)
からの紹介〉

たかはし じゅんこ
高橋淳子さん
(福本)



質問:自身の性格を分析してみると……

答え:おっとりしているけど、しっかりもしている感じ。素直だと言われますが、どうでしょうか。

質問:人にちょっと自慢できることを教えてください

答え:友人知人に恵まれている。私の周りにはステキな人ばかり。

質問:あなたが思う神河町のいいところを教えてください

答え:空気がおいしい。

質問:将来の夢はなにですか?

答え:感動体験をたくさんしたいと思っています。まずは来年の春に、ニューヨークで書作品を発表出来たら最高!

質問:あなたが今、夢中になっていることはどんなこと?(趣味など)

答え:書道の古典臨書です。※古典臨書とは、中国、日本の昔の人が残した文字を書いて学ぶこと。

質問:これまでの人生の中で、一番思い出に残る出来事は?

答え:一番となると…「母との別れ」でしょうか。母に励まされたこと等も含めてです。

質問:もし何でもかなう魔法があれば、何を願いますか?

答え:ドラえもん「どこでもドア」がほしい。

質問:神河町のみなさまへメッセージをどうぞ!

答え:神河町に暮らして24年。たくさんのステキな方とつながり幸せです。ありがとうございます。

胡麦さんから高橋さんにメッセージ

わたしの大好きなお習字の先生です。優しく手をとって一緒に書いてくださるときが嬉しいです。先生の個展でみた「いろんなマルをつけてみる」という作品が今も心に残っています。これからもよろしくお願いします。